

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 15 日作成)

委員会名	鋼構造耐火設計小委員会	主 査 名：今野和近
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：小野徹郎
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	耐火分野における最新の研究成果を反映し、本会「鋼構造耐火設計指針」を改定することを最終目標とする。 2004 年度は現行指針の課題抽出と改定準備を主な活動内容とする。	
委員構成 (委員名(所属))	今野和近(J F E 技研), 原田和典(京大), 平島岳夫(千葉大), 安部武雄(東工大), 上杉英樹(千葉大), 大塚貴弘(富山県立大), 大宮喜文(理科大), 岡部猛(熊本大), 河野守(建研), 鈴木弘之(筑波大)	
設置 WG (WG 名: 目的)	1) <u>高温構造耐力 WG</u> : 耐火分野のうち, 構造に関わる分野の検討。 2) <u>火災性状・部材温度 WG</u> : 耐火分野のうち, 燃焼・伝熱に関わる分野の検討。	
2004 年度予算	370,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	5 月 12 日(水)9 名, 7 月 22 日(木)10 名, 9 月 13 日(月)10 名, 11 月 17 日(水)12 名, 1 月 26 日(水)9 名, 3 月 22 日(火)予定 開催回数 計 6 回 (傘下の 2WG との合同開催)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 1) 指針改定内容の具体化 ・鋼材及び高力ボルトの高温特性データの整理と鋼種別評価式の構築 ・高力ボルト摩擦接合部の高温耐力評価法の見直し ・鋼材温度算定手法を, 形態係数の影響を考慮した形に修正 ・局所火災による加熱を受ける部材の温度算定法の見直し 2) 技術的背景の整備 ・架構及び部材の高温時の不安定挙動に関する既往の研究を調査 ・高力ボルト摩擦接合部を高温時に全強接合とするための条件を検討 ・市街地火災の影響に関する現状の技術レベルを確認 委員会 HP アドレス: なし
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 1) 改定内容の具体化(80%) 既往のデータ及び研究成果の収集を終了。一部の課題については, 改定作業に着手済み。 2) 技術的背景の整備(70%) '05 年度に改定指針の執筆と平行して進める予定。
その他評価すべき事項	